

令和 4 年度
柏市地域包括支援センター
事業実績について

令和 5 年 7 月 1 3 日
柏市地域包括支援課

目次

(1) 介護予防・生活支援サービス事業	・・・	スライド 1
(2) 一般介護予防事業	・・・	スライド 2～3
(3) 総合相談支援業務	・・・	スライド 4～6
(4) 権利擁護業務	・・・	スライド 7～8
(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・・・	スライド 9～12
(6) 認知症総合支援事業（認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む）	・・・	スライド 13～15
(7) 地域ケア会議推進事業	・・・	スライド 16～18
令和3年度との比較	・・・	スライド 19
まとめ	・・・	スライド 20

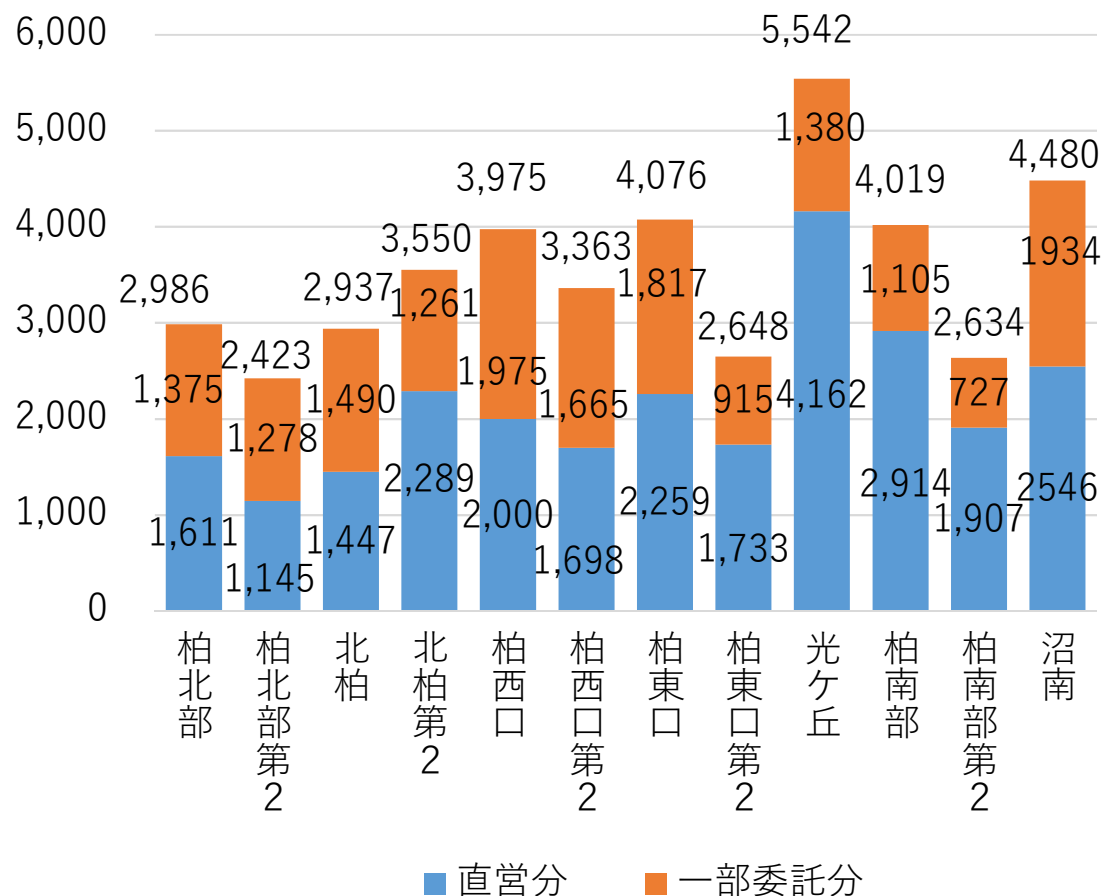
(1) 介護予防・生活支援サービス事業

(参考資料1 P1参照)

ケアプラン作成件数 (R5.3月末時点)

介護予防 ケアプラン件数	42,633 件
うち、居宅介護支援事業 所へ委託した件数 (一部委託)	25,711 件
委託率	60.3 %

センター別 作成件数 (R5.3月末時点)



⇒要支援者及び事業対象者のケアプラン作成数は前年度より増加しており、委託率は60.3%である (R4.3月末時点は40,129件で委託率63.4%)。

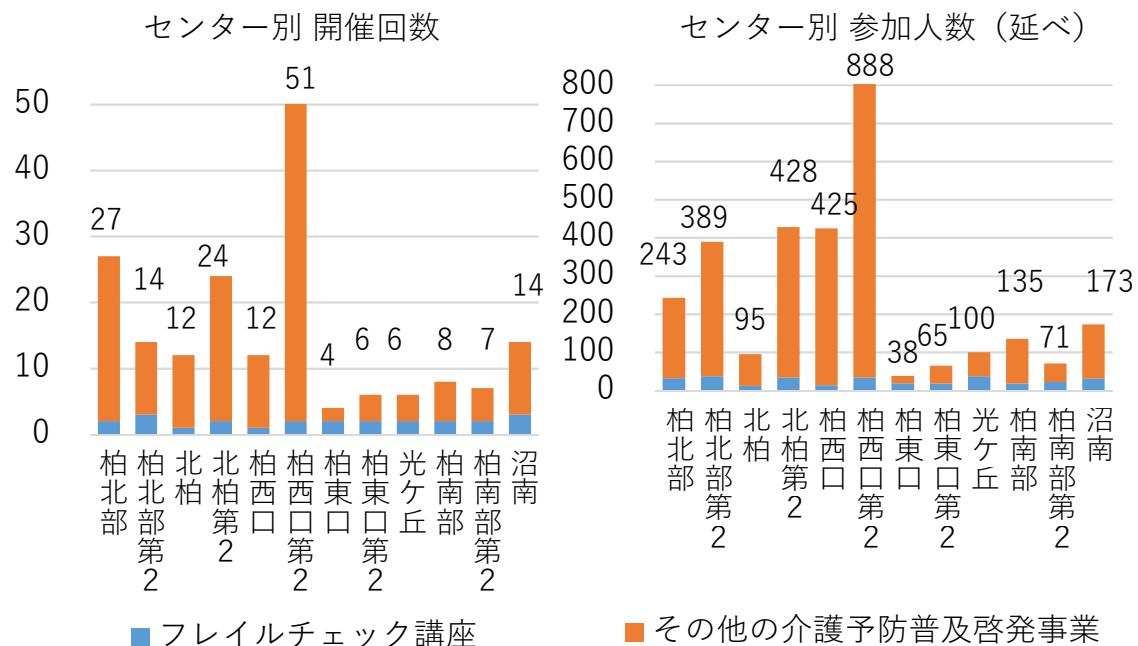
(2) 一般介護予防事業①

(参考資料1 P2,3参照)

ア 介護予防普及啓発事業

(ア)ウ) 講座等開催状況

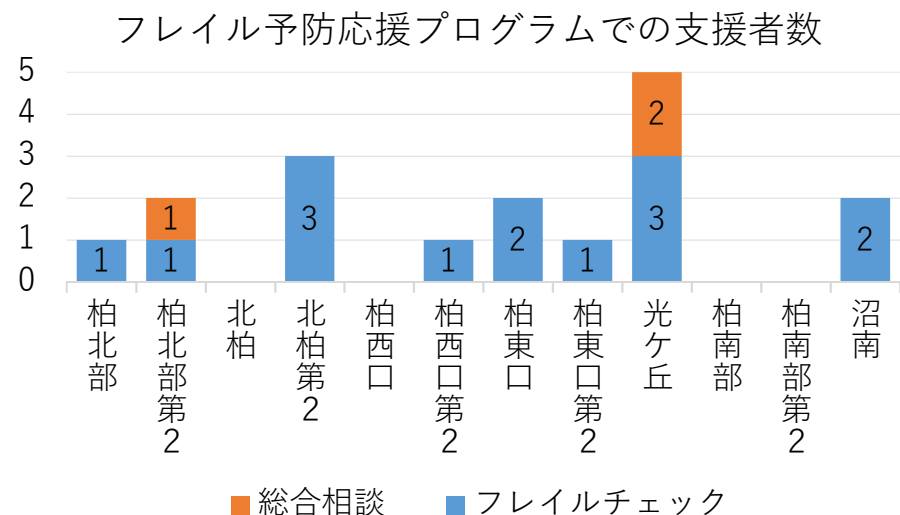
フレイルチェック講座	開催回数	24 回
	参加人数(延べ)	308 人
その他の介護予防普及啓発事業	開催回数	161 回
	参加人数(延べ)	2,742 人



(イ) フレイル予防応援プログラム

総合相談	フレイルチェック
3	14

⇒フレイルチェックや総合相談から抽出したフレイルのハイリスク者に対し、フレイル予防応援プログラムとして、栄養士・リハビリ職等の専門職が連携して個別支援を行った。



(2) 一般介護予防事業②

(参考資料1 P3参照)

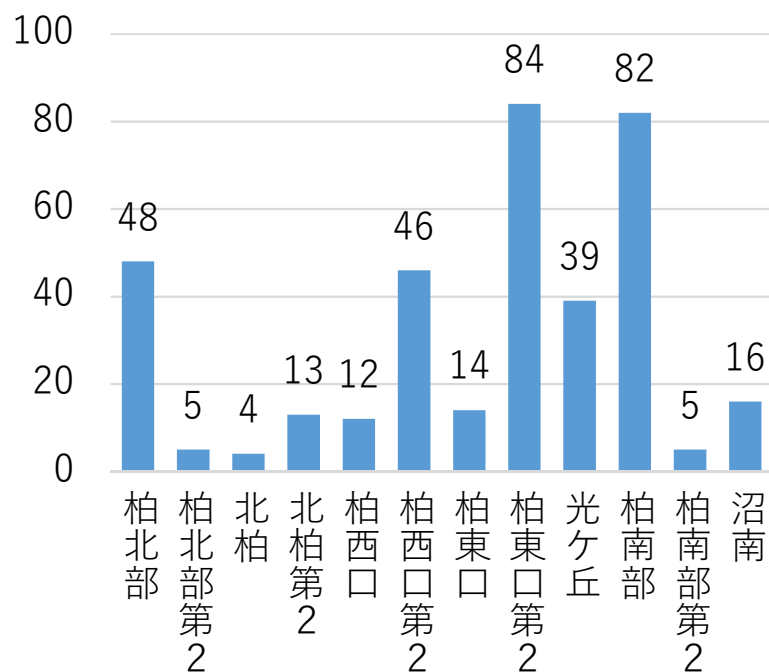
イ サークルやサロン等の地域の団体への支援

開催回数	参加人数 (延べ)
368 回	7,011 人

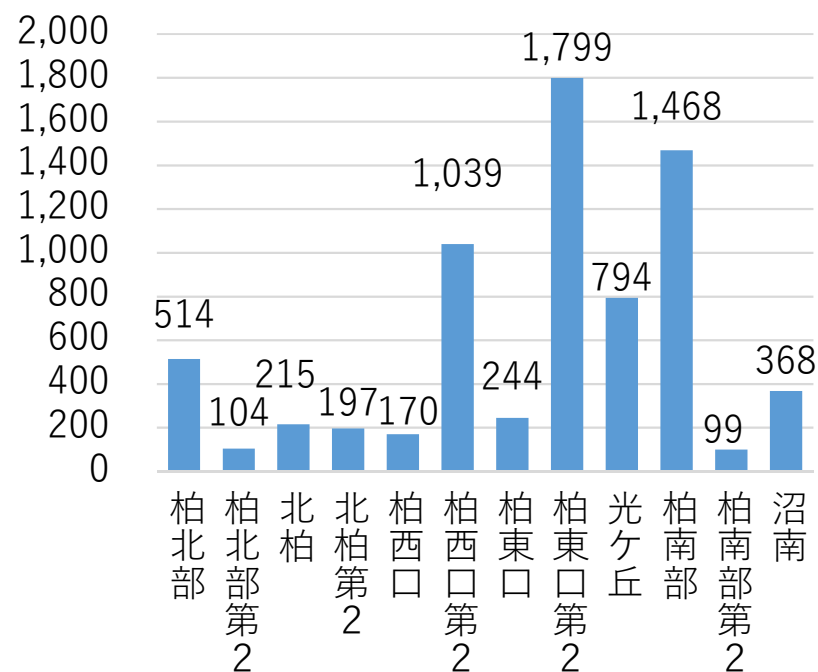
⇒地域サロンや通いの場において、住民主体の活動を支援した。

また、フレイル予防の自主サークルの立ち上げや新規参加者の受け入れにつなげる等の支援を行った。

センター別 開催回数



センター別 参加人数 (延べ)



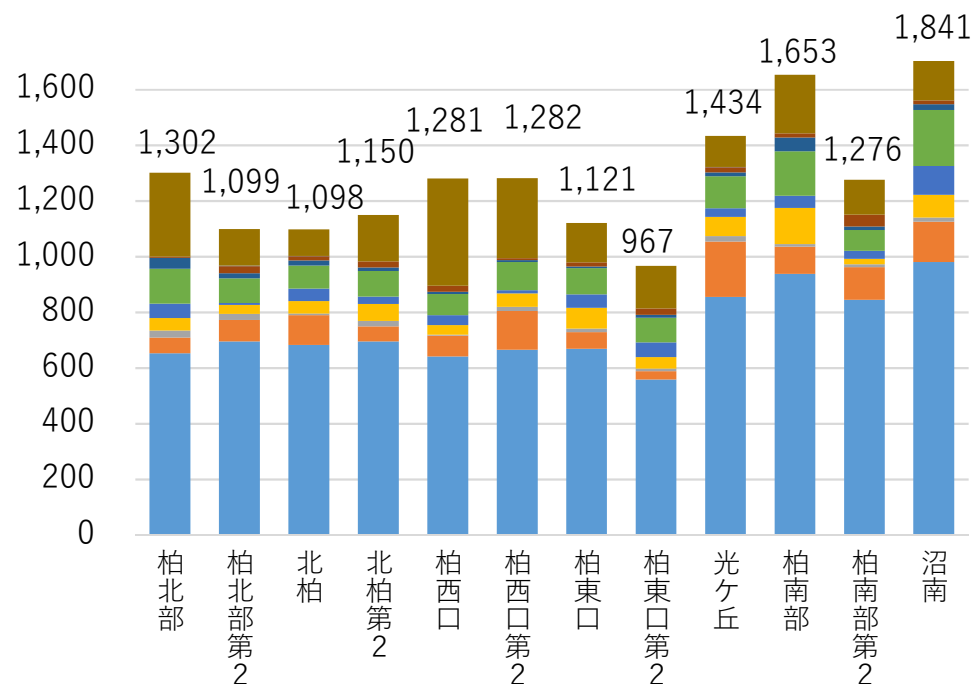
(3) 総合相談支援業務①

(参考資料1 P4,5参照)

総合相談件数

実件数	13,961 件
延べ件数	15,504 件

⇒相談件数は前年度と比較し、増加している。
(R3は実件数13,243件, 延べ件数14,655件)



- その他
- 生活支援体制整備事業
- 認知症に関する事業
- 権利擁護業務
- 指定介護予防支援事業及び第1号介護予防支援事業
- 介護者の離職防止に関する相談
- 在宅医療・介護連携推進事業
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
- 一般介護予防事業
- 介護保険や高齢者福祉制度・サービス

<参考：日常生活圏域データ（令和4年10月1日現在）>

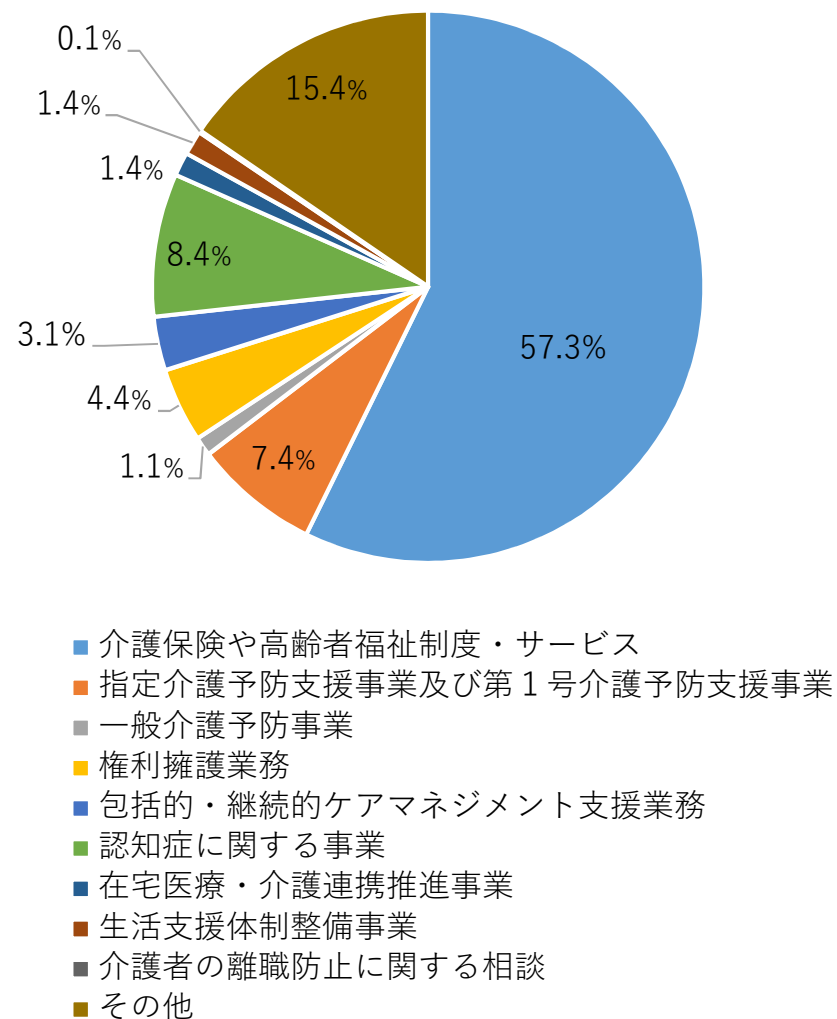
内容	柏北部	柏北部第2	北柏	北柏第2	柏西口	柏西口第2	柏東口	柏東口第2	光ヶ丘	柏南部	柏南部第2	沼南	計
65歳以上人口	8,955人	7,321人	7,494人	9,422人	8,359人	7,559人	9,912人	7,550人	11,347人	12,525人	7,372人	14,787人	112,603人
高齢化率	19.4%	25.5%	31.4%	29.6%	26.2%	20.7%	23.2%	23.2%	27.8%	30.6%	30.2%	27.8%	26.0%
要介護認定率	13.9%	14.7%	16.6%	14.6%	19.0%	16.0%	16.6%	15.8%	17.7%	16.0%	17.0%	14.9%	16.0%

(3) 総合相談支援業務②

(参考資料1 P4,5参照)

内容別 相談件数

内容	延べ件数
介護保険や高齢者福祉制度・サービス	8,881件
指定介護予防支援事業及び第1号介護予防支援	1,156件
一般介護予防事業	170件
権利擁護業務	678件
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	488件
認知症に関する事業	1,301件
在宅医療・介護連携推進事業	214件
生活支援体制整備事業	221件
介護者の離職防止に関する相談	4件
その他	2,391件
計	15,504件

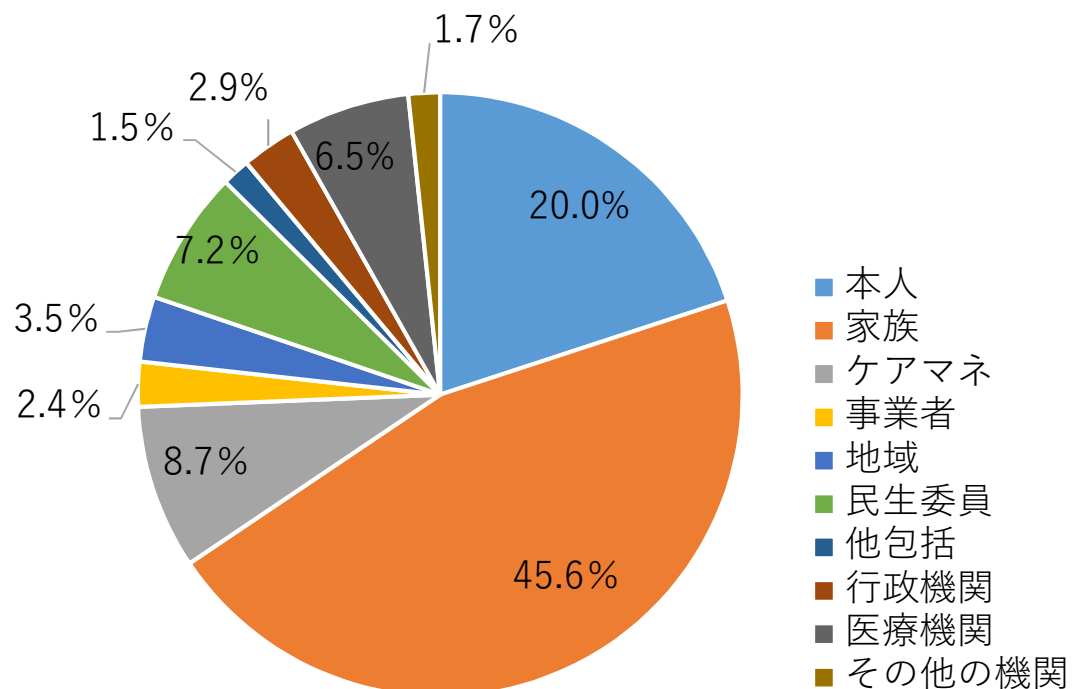


⇒介護保険や高齢者福祉制度・サービスに関する相談が8,881件（57.3%）で最も多く、認知症に関する事業に係る相談（1,301件、8.4%）と続いた。

(3) 総合相談支援業務③

相談者別 相談件数

相談者	延べ件数
本人	3,104件
家族	7,083件
ケアマネ	1,359件
事業者	366件
地域	544件
民生委員	1,110件
他包括	227件
行政機関	449件
医療機関	1,006件
その他の機関	256件
合計	15,504件



⇒家族からの相談が7,083件（45.6%）と最も多く、次いで本人（家族を伴っての相談を含む）からの相談が3,104件（8.7%）であった。
 ⇒前年度と比較し、家族や民生委員からの相談数が増えている。

（R3年度 家族:6,798件， 民生委員:892件）

(4) 権利擁護業務①

(参考資料1 P6参照)

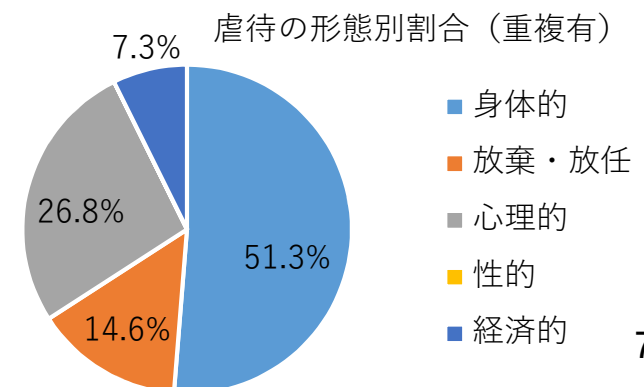
ア 高齢者虐待への対応 (実件数)

(単位：件)

センター	通報件数	虐待として 対応した件数	虐待の形態 (重複有)				
			身体的	放棄・放任	心理的	性的	経済的
柏北部	5	-	-	-	-	-	-
柏北部第2	10	3	3	1	1	-	1
北柏	11	4	2	1	1	-	-
北柏第2	12	6	6	-	2	-	-
柏西口	10	3	2	1	3	-	1
柏西口第2	6	1	1	-	1	-	-
柏東口	10	2	1	-	1	-	-
柏東口第2	11	3	3	1	-	-	-
光ヶ丘	9	1	-	1	-	-	-
柏南部	9	2	1	1	-	-	-
柏南部第2	8	1	1	-	1	-	-
沼南	24	2	1	-	1	-	1
計	125	28	21	6	11	0	3

⇒虐待疑いを含めて通報があった件数は125件で、そのうち、虐待として対応した件数は28件であった。

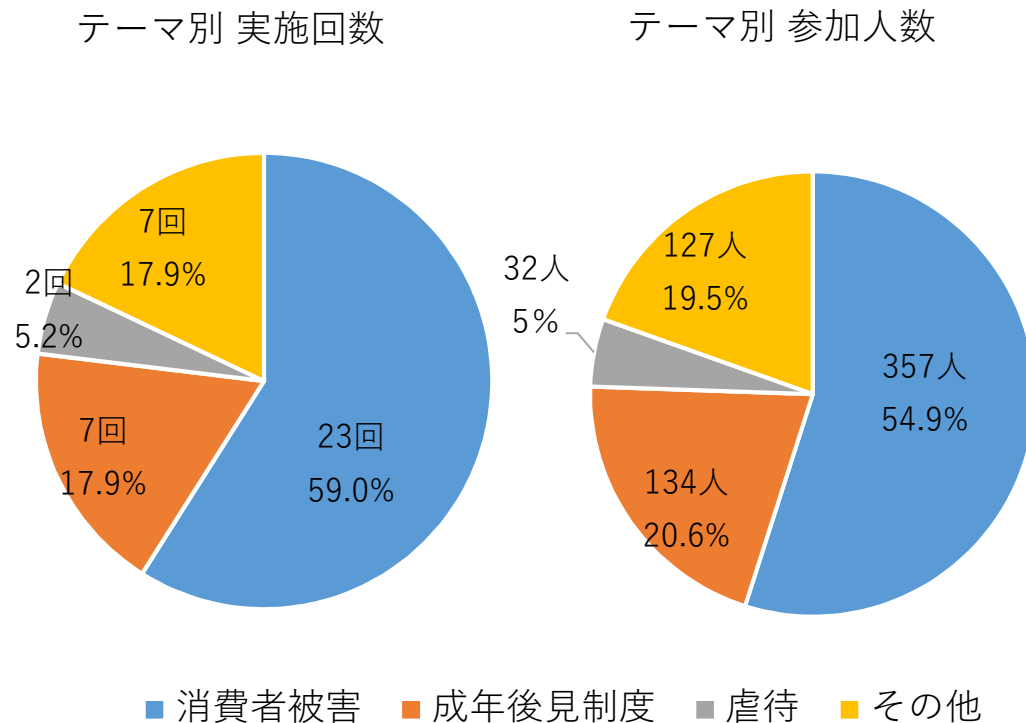
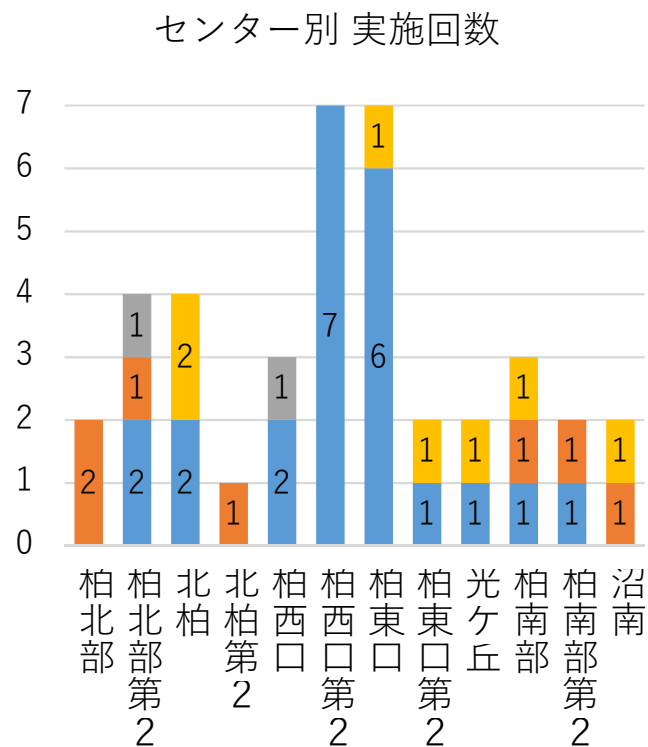
⇒虐待の形態としては、身体的虐待が21件(51.3%)と最も多く、次いで心理的虐待が11件(26.8%)であった。



(4) 権利擁護業務②

(参考資料1 P7参照)

イ 権利擁護講座



- ⇒開催回数は、消費者被害に関する講座が23回（59.0%）と最も多かった。
- ⇒参加人数も消費者被害が最も多く357人（54.9%）で、次いで成年後見制度が134人（20.6%）であった。
- ⇒その他としては、「終活」をテーマとするものが多かった。

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務①

(参考資料1 P8参照)

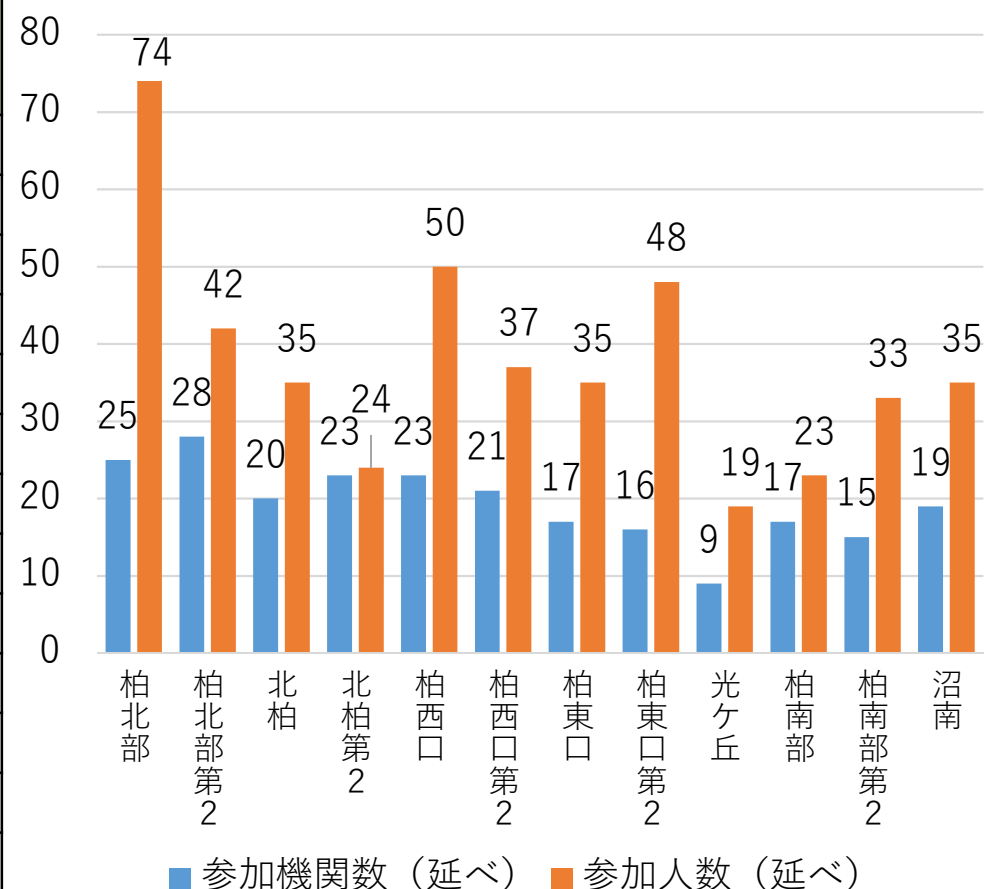
ア 地区別研修

(単位：回，機関，人)

センター	開催回数	参加機関数(延べ)	参加人数(延べ)
柏北部	2	25	74
柏北部第2	2	28	42
北柏	2	20	35
北柏第2	2	23	24
柏西口	4※1	23	50
柏西口第2	4※1	21	37
柏東口	2	17	35
柏東口第2	2	16	48
光ヶ丘	1	9	19
柏南部	2※2	17	23
柏南部第2	2※2	15	33
沼南	2	19	35
合計	21	233	455

※はそれぞれ合同開催のため、開催回数は各センターの合計と一致しない

センター別 参加機関数及び参加人数



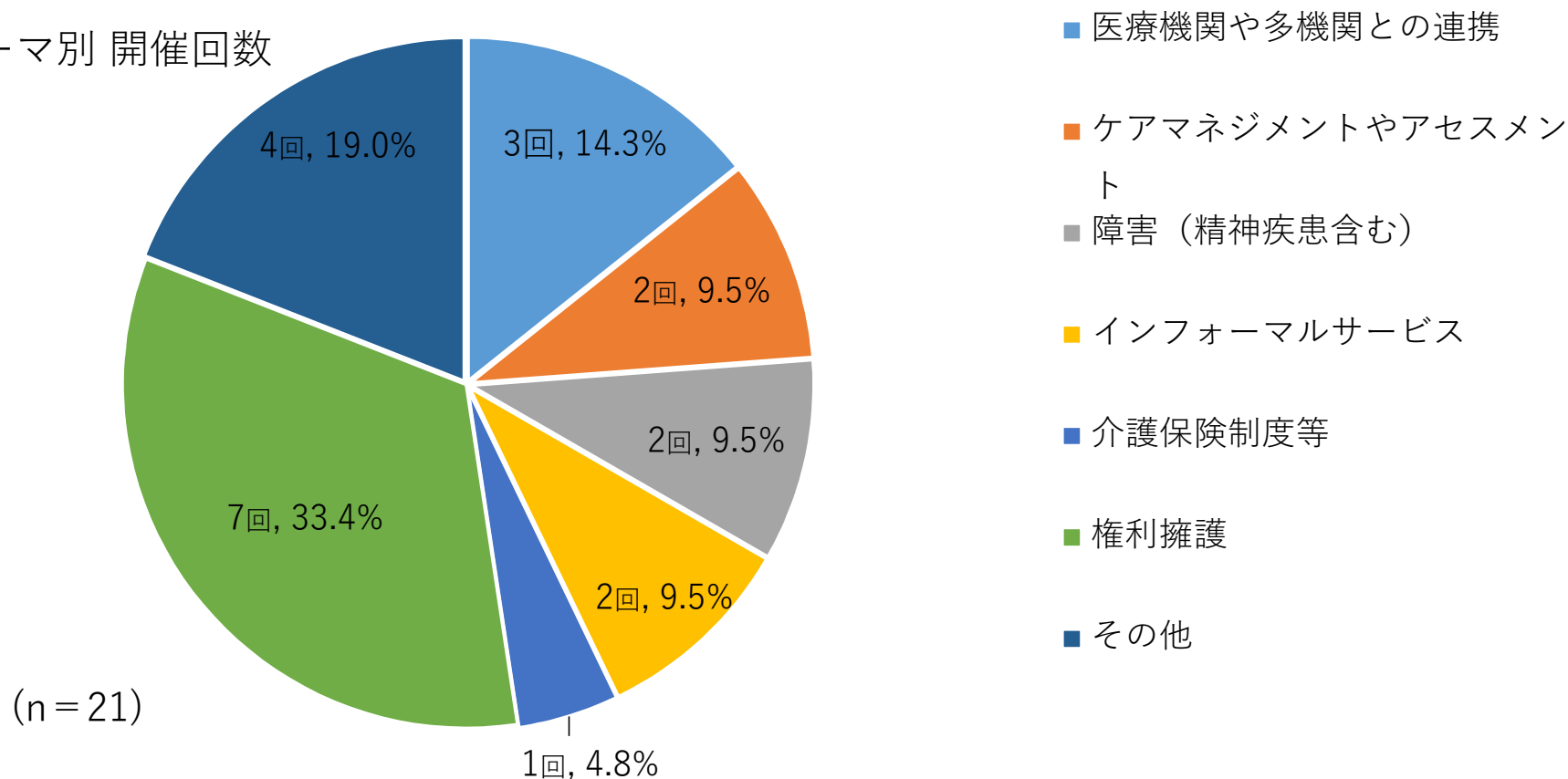
⇒ケアマネジャー相互の情報交換やネットワークの構築，ケアマネジャーの資質向上，制度や施策などに関する情報提供を行う機会として，各センターで研修を実施した。

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務②

(参考資料1 P8参照)

ア 地区別研修

テーマ別 開催回数



⇒研修テーマは、権利擁護に関することが7回（33.4%）と最も多く、次に医療機関や多機関との連携が3回（14.3%）であった。

⇒その他のテーマとしては、ヤングケアラーの支援やフレイル予防であった。

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務③

(参考資料1 P9参照)

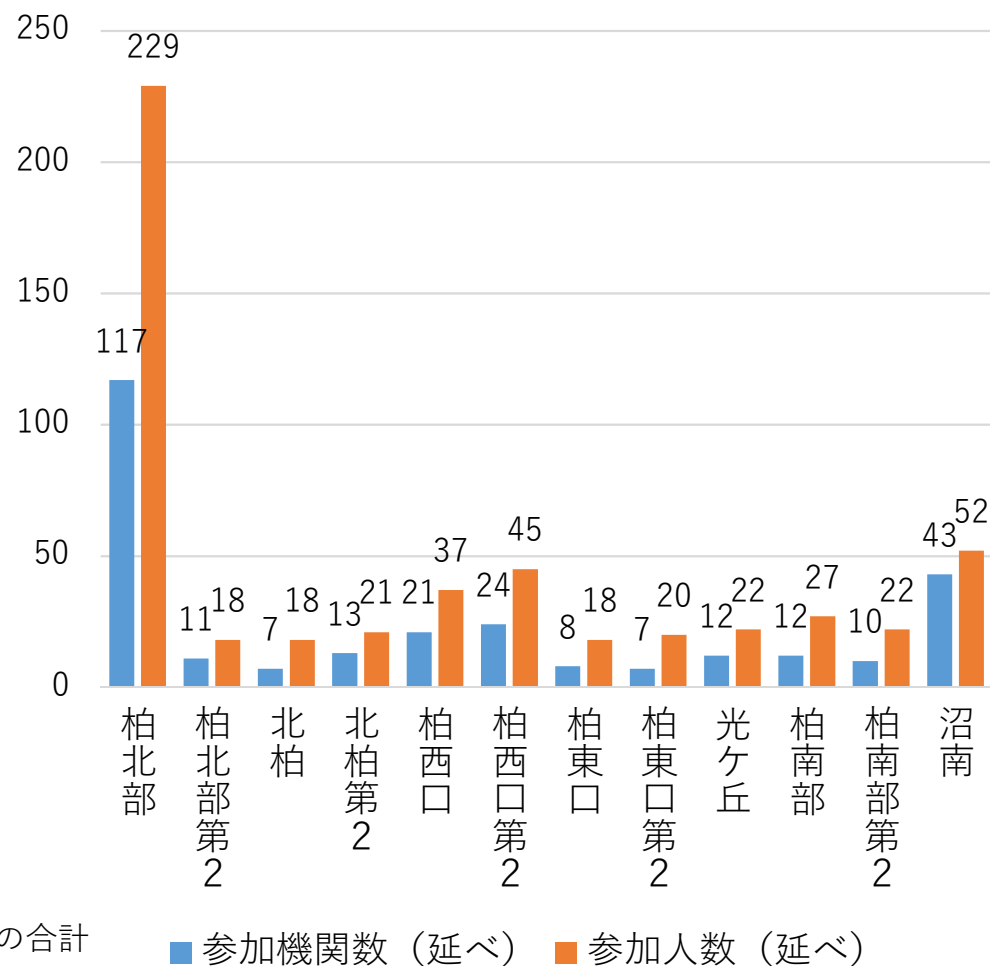
イ 事例検討会

(単位：回，機関，人)

センター	開催回数	参加機関数(延べ)	参加人数(延べ)
柏北部	8	117	229
柏北部第2	1	11	18
北柏	1	7	18
北柏第2	1	13	21
柏西口	3※1	21	37
柏西口第2	3※1	24	45
柏東口	1	8	18
柏東口第2	1	7	20
光ヶ丘	1	12	22
柏南部	2※2	12	27
柏南部第2	2※2	10	22
沼南	5	43	52
合計	24	285	529

※はそれぞれ合同開催のため、開催回数と各センターの合計と一致しない

センター別 参加機関数及び参加人数

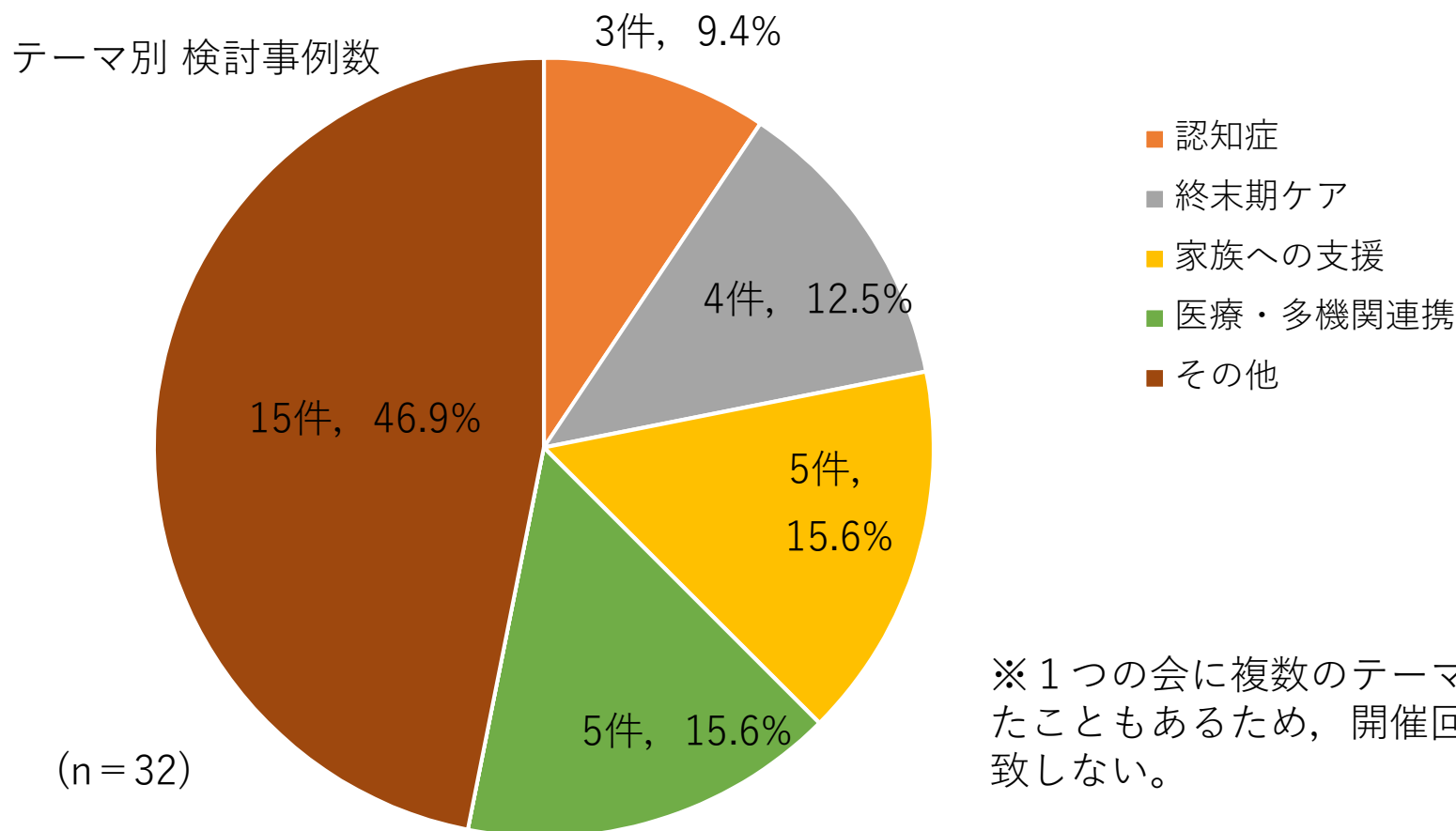


⇒ケアマネジャーの資質向上のため、センターの専門職や医療・介護・福祉等の関係機関と連携した事例検討を各センターで実施した。

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務④

(参考資料1 P9参照)

イ 事例検討会



⇒検討事例のテーマは、医療・多機関連携及び家族への支援がそれぞれ5件（15.6%）と最も多く、次に終末期ケア（12.5%）であった。

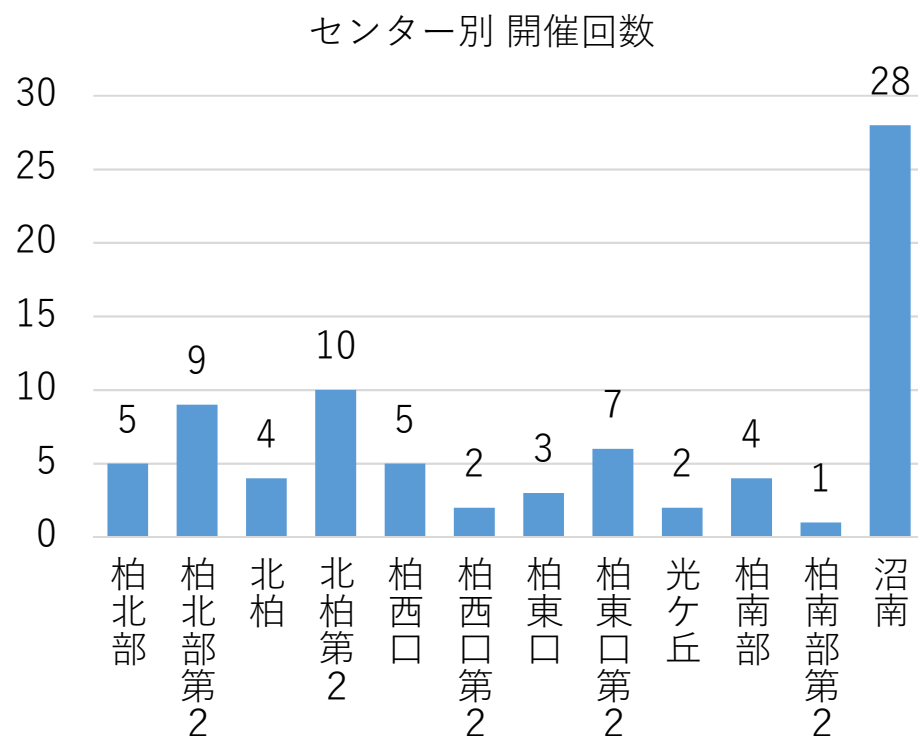
⇒その他のテーマとしては、インフォーマルサービスに関することやサービス導入が困難な事例への対応等について検討した。

(6) 認知症総合支援事業①

(認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)

(参考資料1 P10参照)

ア 認知症サポーター養成講座



参加者の区分	人数
老人クラブ、サロン等	15人
自治会、町内会等	146人
ボランティア組織	23人
介護者団体	14人
その他一般住民ほか	220人
企業・職域団体	239人
小学校	201人
中学校	171人
高校	854人
大学	9人
計	1,892人

⇒各センターで、個人が受講できる認知症サポーターオープン講座を実施した。そのほか、講座の依頼があった団体への講師派遣やセンターから地域団体へ講座開催を働きかけるなど、認知症の普及啓発を実施した。

⇒参加者の区分はクラス単位で実施する小学校や高校等の学校が多くなっている。

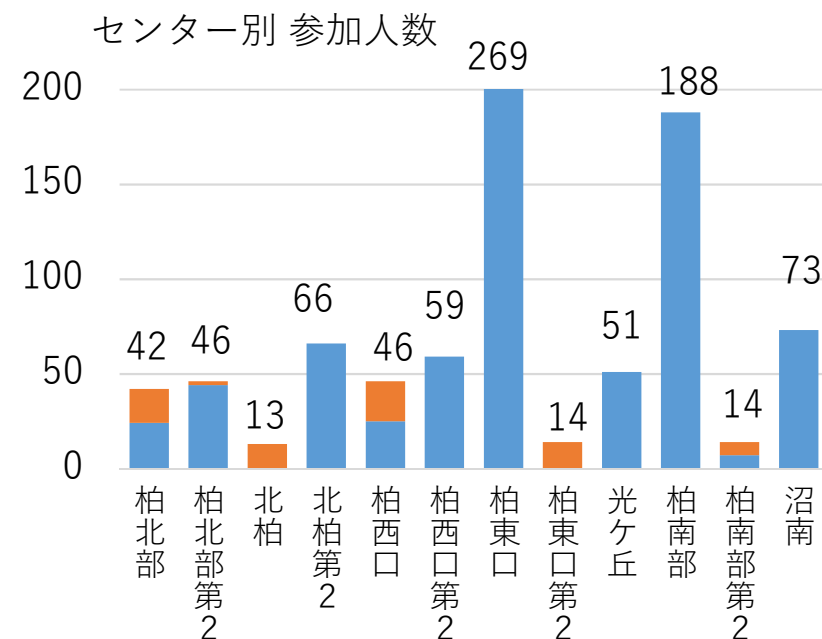
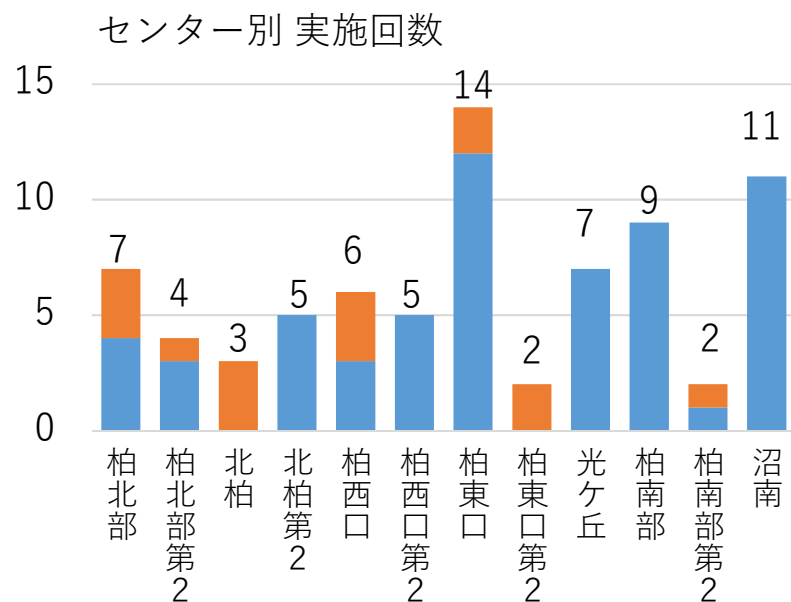
(6) 認知症総合支援事業②

(認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)

(参考資料1 P10参照)

イ 認知症カフェ（かしわオレンジホッとカフェ）と認知症介護者交流会

	実施回数	参加人数
認知症カフェ	60回	792人
認知症介護者交流会	15回	89人



■ 認知症カフェ ■ 認知症介護者交流会

⇒カフェや交流会を開催し、交流の機会を通じて、認知症の方やその家族に対する支援を行った。

(6) 認知症総合支援事業③

(認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)

(参考資料1 P11参照)

ウ かしわオレンジフレンズ交流会

(単位：人，回)

センター	かしわオレンジ フレンズ登録者数 (R4年度末)	登録者のうち何ら かの活動をした者 (R4年度末)	かしわオレンジフレンズ交流会	
			開催回数	参加人数
柏北部	47	37	20	240
柏北部第2	33	33	0	0
北柏	17	11	0	0
北柏第2	15	11	1	7
柏西口	45	18	1	10
柏西口2	21	21	1	6
柏東口	35	17	3	31
柏東口第2	14	5	1	3
光ヶ丘	47	16	1	9
柏南部	19	16	4	39
柏南部第2	18	18	2	15
沼南	50	35	3	51
計	361	238	37	411

⇒かしわオレンジフレンズは認知症カフェ等の認知症に関する事業でボランティアとして活動しているかた。登録者の6割以上が実際に活動を行った。

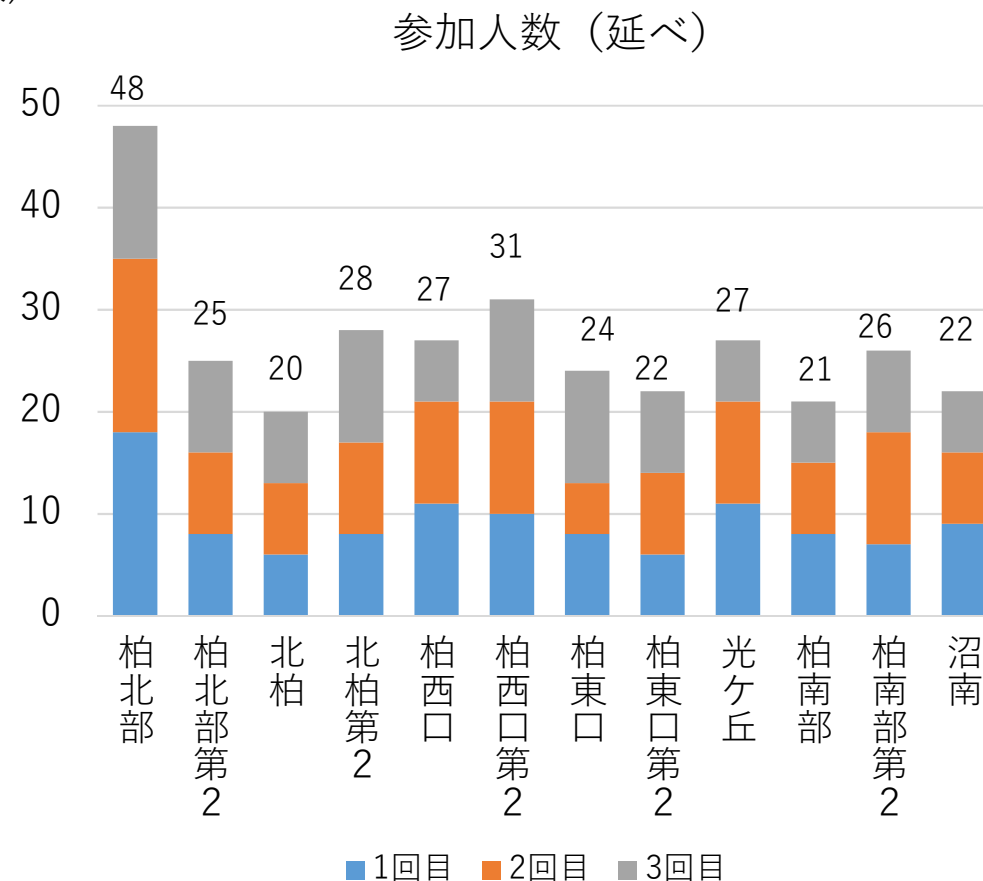
交流会では認知症に関する講話や活動に向けての話し合い等を行ったほか、認知症の方とのウォーキングを交流の場とした。

(7) 地域ケア会議推進事業①

(参考資料1 P12参照)

ア 地域ケア個別会議 (単位：回, 人)

センター	開催回数	参加人数
柏北部	3	48
柏北部第2	3	25
北柏	3	20
北柏第2	3	28
柏西口	3	27
柏西口第2	3	31
柏東口	3	24
柏東口第2	3	22
光ヶ丘	3	27
柏南部	3	21
柏南部第2	3	26
沼南	3	22
計	36	321

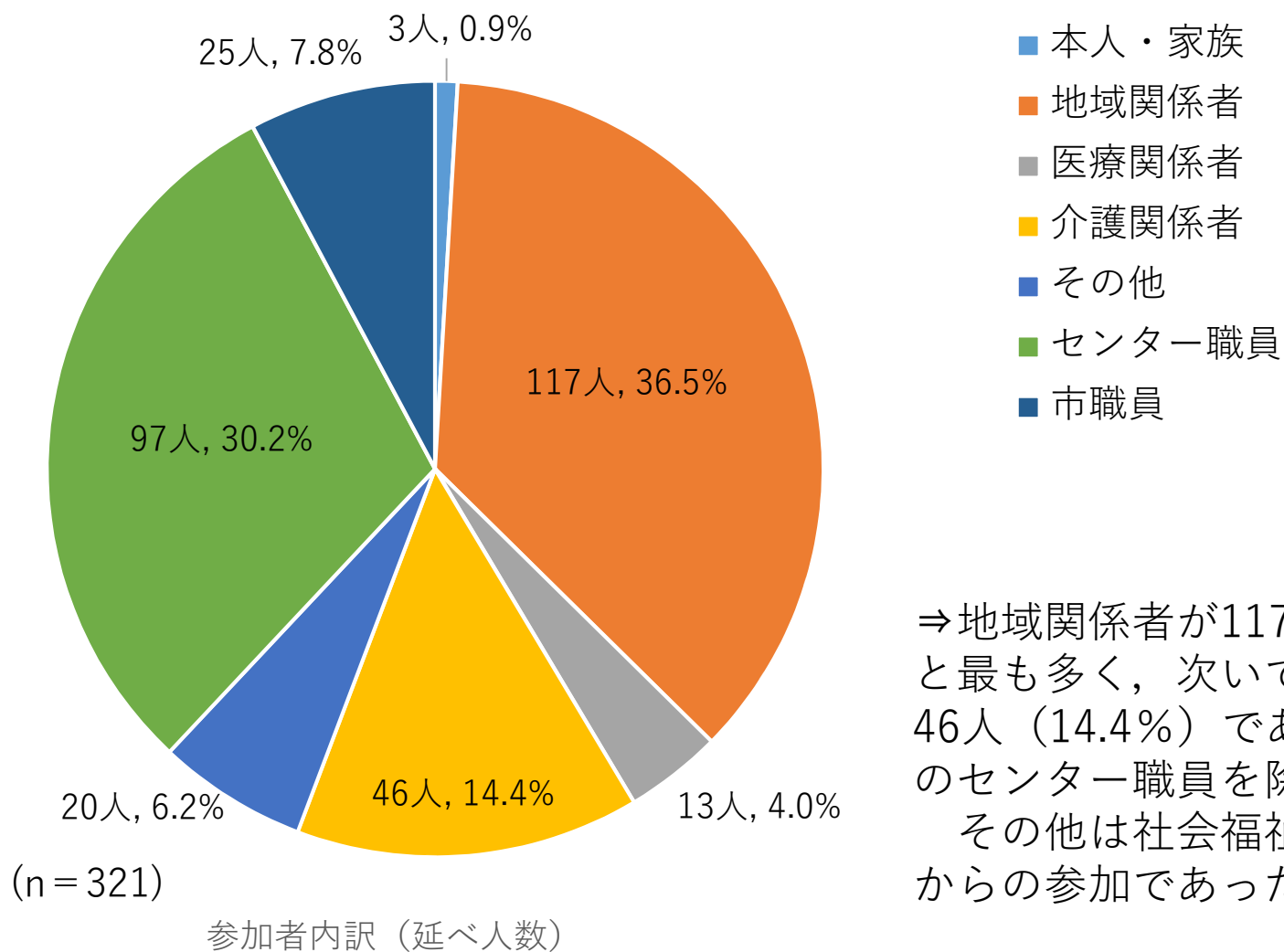


⇒専門職や地域の関係者等と事例の課題解決に向けた検討を行うことにより、ケアの質を高め、その人のニーズの充足を目指すとともに、検討のなかで参加者と地域の課題等の共有を行った。

(7) 地域ケア会議推進事業②

(参考資料1 P12参照)

ア 地域ケア個別会議



⇒地域関係者が117人（36.5%）と最も多く、次いで介護関係者が46人（14.4%）であった。（主催のセンター職員を除く。）

その他は社会福祉協議会や警察からの参加であった。

(7) 地域ケア会議推進事業③

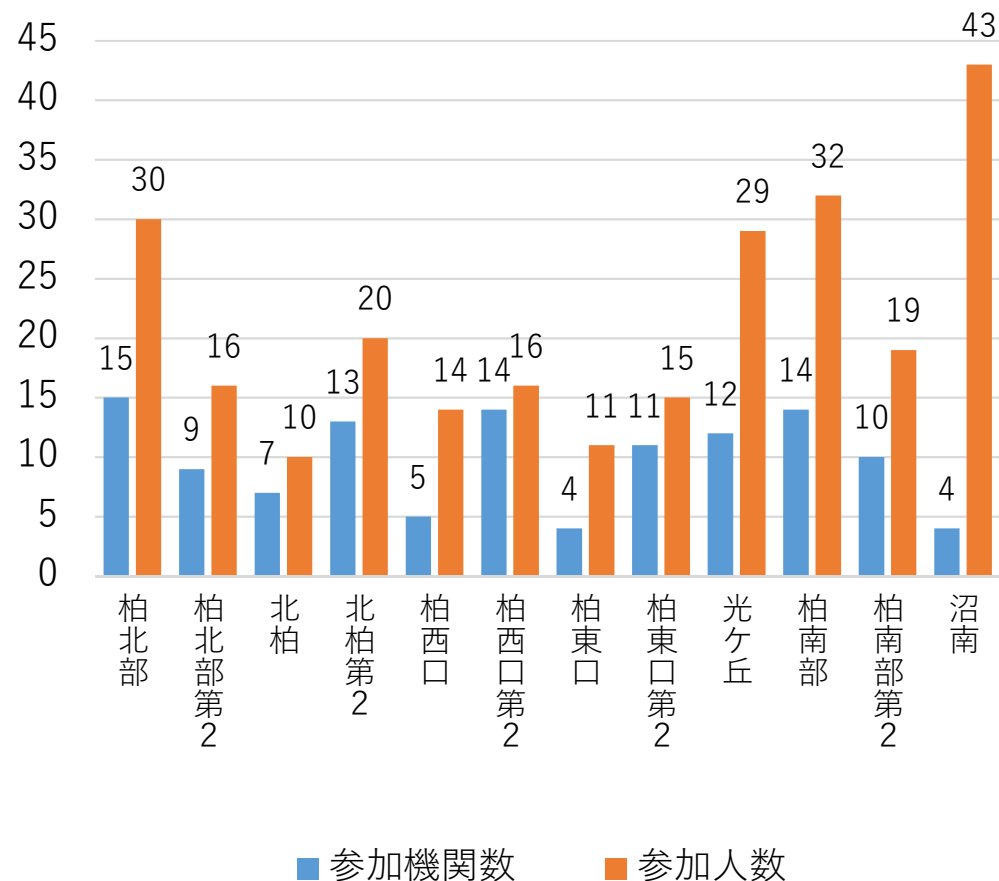
(参考資料1 P13参照)

イ 地域ケア推進圏域会議

(単位：機関，人)

センター	参加機関数 (延べ)	参加人数 (延べ)
柏北部	15	30
柏北部第2	9	16
北柏	7	10
北柏第2	13	20
柏西口	5	14
柏西口第2	14	16
柏東口	4	11
柏東口第2	11	15
光ヶ丘	12	29
柏南部	14	32
柏南部第2	10	19
沼南	4	43
計	118	255

参加機関数及び参加人数 (延べ)



⇒個別事例の検討や総合相談支援のなかで明らかとなった地域の課題について、参加者で共有し、ネットワーク構築や地域資源の開発に向けた検討を行った。

令和3年度との比較

事業名	項目	R4年度	R3年度	前年度比
介護予防・生活支援サービス事業	ケアプラン作成数	42,633件	40,129件	1.06
	うち居宅介護支援事業所へ委託した件数	25,711件	25,518件	1.01
一般介護予防事業	フレイルチェック講座 参加者数	308人	240人	1.28
	サロン等の地域の団体への支援 参加者数	7,011人	5,007人	1.40
総合相談支援業務	相談件数（延べ）	15,504件	14,655件	1.06
	うち土曜日の相談件数（延べ）	1,545件	1,470件	1.05
権利擁護業務	虐待対応件数	28件	42件	0.67
	権利擁護講座 参加者数	650人	439人	1.48
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	地区別研修 参加者数	455人	503人	0.90
	事例検討会 参加者数	529人	331人	1.60
認知症総合支援事業 (認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)	認知症サポーター養成講座 参加者数	1,892人	2,524人	0.75
	認知症カフェ/認知症介護者交流会 参加者数	881人	516人	1.71
	かしわオレンジフレンズ交流会 参加者数	411人	397人	1.04
地域ケア会議推進事業	地域ケア個別会議 参加者数	321人	298人	1.08
	地域ケア推進圏域会議 参加者数	255人	138人	1.85

まとめ

- 高齢者人口の増加に合わせ、要支援者数も増加しており、介護予防ケアプランの作成数は増加している。
- センターへの相談は、認知症に関する相談が多く、また、認知症カフェや交流会等の関連事業に対する認知症当事者やその家族等の参加も増加していることから、地域での関心が高いと考えられる。
- ケアマネジャー資質向上のための事例検討会は医療・多機関連携や家族への支援に関するテーマが多く選定され、参加者が増加していることから、引き続き、各支援機関との連携を図っていく必要がある。
- サロンをはじめとする地域活動が徐々に再開するなかで、地域活動支援回数が増加するとともに、フレイルチェック講座への参加者数が増加する等、地域でのフレイル予防への取組みの活性化が見られた。
- 地域ケア推進圏域会議への参加機関や参加者数は増加しており、地域全体で課題解決に取り組む意識が高まっていることが窺える。